

国民健康・栄養調査におけるオンライン調査の導入の検討状況について

○公的統計におけるオンライン調査について

- ・平成 26 年 3 月 25 日閣議決定「公的統計の整備に関する基本的な計画」において、公的機関が実施する統計調査の統計作成の効率化、経費・業務の簡素合理化、利便性の向上、報告書の負担軽減等を目的として、オンライン調査の導入が推進されている
- ・これに基づき、郵送調査については原則すべて、調査員調査についてはオンライン化がなじまないものを除き、オンライン調査を順次導入することが求められている

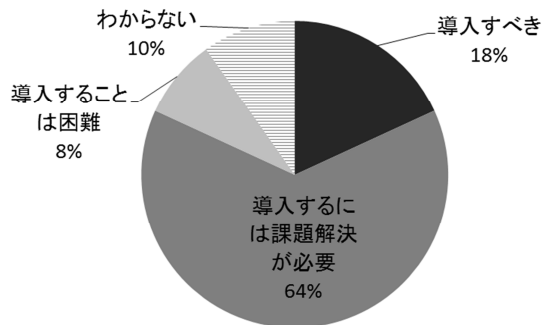
○自治体での実行可能性について

- ・国民健康・栄養調査においてオンライン調査の実施可能性がある調査は、実測を伴う調査以外となり、これに該当するのは、生活習慣調査となる
 - ・そこで、調査実施主体である自治体でのオンライン調査の実行可能性について、平成 28 年 7 月 12 日に別紙内容について、自治体に回答を求めた
- 結果は、以下のとおり

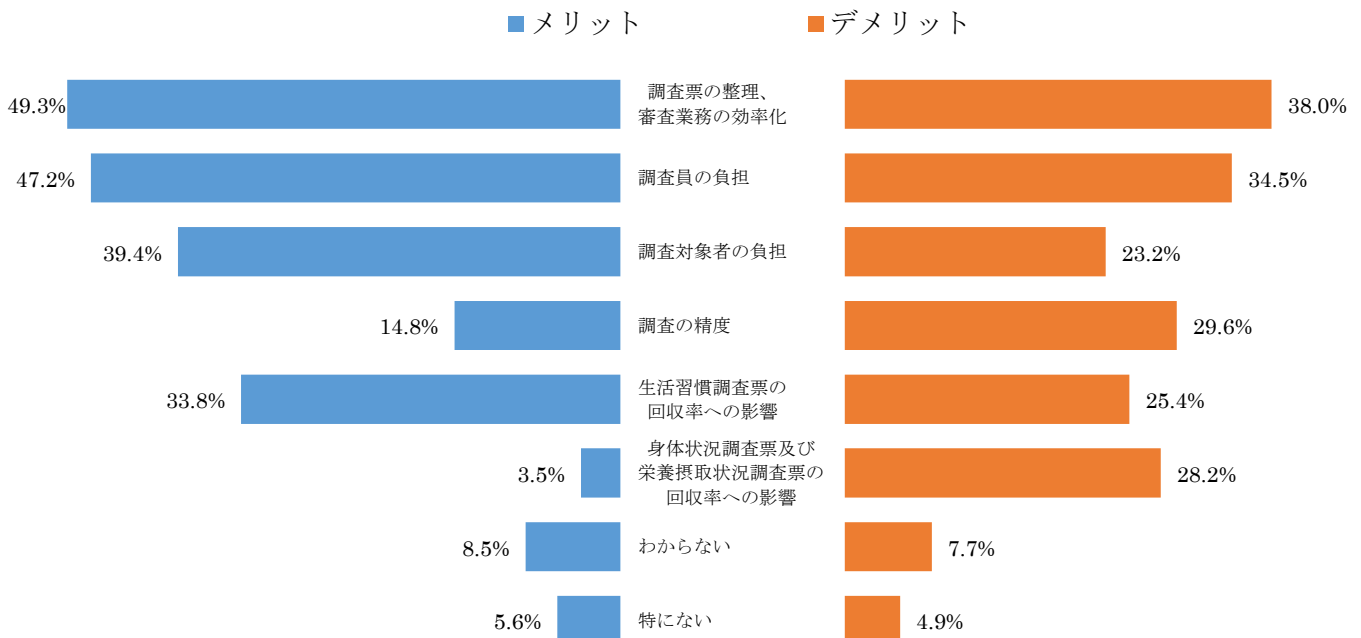
＜生活習慣調査票におけるオンライン調査の導入に関するアンケート結果＞

1. 生活習慣調査票におけるオンライン調査の導入※ についてどのように考えるか。

※ 調査対象者が、紙の調査票ではなくオンラインでの回答を実施



2. 生活習慣調査票におけるオンライン調査の導入のメリット・デメリットとして考えられること (複数回答可)



3. 「その他」で記載のあった項目

(メリット)

- ・インターネットに慣れている人や調査票を他人に見られたくない人、日中不在の人の回収率が向上する可能性がある。(10自治体)
- ・エラー表示等により回収前に回答の誤りを修正できる(1自治体)
- ・調査対象者がオンライン調査と紙調査のどちらかを選択できる形であれば回収率が向上する可能性がある。(1自治体)

(デメリット)

- ・高齢者等オンライン操作が不得意な対象者には負担が増えるため、使用できない対象者への対応が必要となる。(38自治体)
- ・調査対象者がオンライン調査と紙調査のどちらかを選択できる形であれば課題が一部解決できると考える。(5自治体)
- ・同一調査内で調査内容によりオンライン回答と紙回答で異なることで、混乱が生じる。(8自治体)
- ・身体状況調査、栄養摂取状況調査はオンライン化できないため、生活習慣調査のみをオンライン化することはメリットよりデメリットの方が大きい。(8自治体)
- ・対象者がオンラインで回答できる者に偏り、調査精度に影響が出る可能性がある。(5自治体)
- ・オンラインの入力について操作方法に関する問合せが増加し、調査員の負担が増える。(13自治体)
- ・回答者が自己判断で回答するため、調査員が回答内容を確認する手間が増える。(5自治体)
- ・県民栄養調査を併せて実施する際や、調査内容を自治体の健康計画へ活用する際の事務が煩雑になる。(3自治体)
- ・システム開発の費用がかかる。(1自治体)

(別紙)

生活習慣調査票におけるオンライン調査の導入に関するアンケート

「公的統計の整備に関する基本的な計画」(平成 26 年 3 月 25 日閣議決定)において、公的機関が実施する統計調査の統計作成の効率化、経費・業務の簡素合理化、利便性の向上、報告者の軽減負担等を目的として、オンライン調査の導入が推進されています。郵送調査については原則すべて、調査員調査についてはオンライン化がなじまないものを除き、オンライン調査を順次導入することが求められています。

(参照 URL : http://www.soumu.go.jp/main_content/000283567.pdf, 18 頁)

この流れを受けて、国民健康・栄養調査においても、オンライン調査を導入することを検討するよう求められています。オンライン調査導入の可能性に関し、まずは生活習慣調査について検討を行うことを考えております。

つきましては、各自治体における調査の実施状況を踏まえて、以下の 1 から 3 の質問にお答え下さい。

回答については、8 月 5 日 (金)までに、郵送、FAX またはメールにて提出をお願いいたします。

提出先：〒100-8916

東京都千代田区霞が関 1-2-2

厚生労働省健康局健康課栄養指導室 栄養調査係

Mail: eiyou-chousa@mhlw.go.jp

FAX: 03-3502-3099

回答の方法：各質問について、当てはまる項目に○をつけて下さい。

1. 生活習慣調査票におけるオンライン調査の導入* についてどのように考えますか。

※ 調査対象者が、紙の調査票ではなくオンラインでの回答を実施

- () 導入すべき
- () 導入するには課題解決が必要
- () 導入することは困難
- () わからない

(別紙)

2. 生活習慣調査票におけるオンライン調査の導入のメリットとして考えられるものはどれですか。(複数選択可)

- 調査対象者の負担が軽減される
- 調査員の負担が軽減される
- 生活習慣調査票の回収率が向上する
- 身体状況調査票および栄養摂取状況調査票の回収率が向上する
- 調査の精度が向上する
- 調査票の整理、審査業務の効率化が図れる
- その他(具体的に: _____)
- わからない
- 特にない

3. 生活習慣調査票におけるオンライン調査の導入において困難になると考えられることはどれですか。(複数選択可)

- 調査対象者の負担が増える
- 調査員の負担が増える
- 生活習慣調査票の回収率が低下する
- 身体状況調査票および栄養摂取状況調査票の回収率が低下する
- 調査の精度が低下する
- 調査票の整理、審査業務が煩雑になる
- その他(具体的に: _____)
- わからない
- 特にない

質問は以上になります。ご協力いただきありがとうございました。